

「魔笛」参考資料のご案内

新国立劇場でのご観劇前に作品に対する理解の一助として、
また、観劇後の感動をさらに深めるために、
5階情報センター閲覧室にてご覧いただける参考資料を紹介し
ます。
ぜひお気軽にお立ち寄りください。

過去の公演プログラム

- 1998/1999 SEASON **魔笛** (1998.5)
2000/2001 SEASON **魔笛** (2000.10)
2005/2006 SEASON **魔笛** (2006.1)

参考図書

<対訳>

モーツァルト 魔笛 (名作オペラブックス 5)

アツティラ・チャンパイ ディートマル・ホラント＝編／音楽之友社 1987年発行

リブレットの対訳から、『魔笛』作曲の経緯、初演時と20世紀の評価、ディスコグラフィまで幅広く網羅した資料集。

モーツァルト 魔笛 (オペラ対訳ライブラリー) 荒井秀直＝訳／音楽之友社 2000年発行

台本テキストを数行単位で原語と日本語訳交互に記載しているので、CDやDVDを鑑賞しながら原文と訳文を同時に追うことができる。イタリア語の文法解説つき。

モーツァルト バスティアンとバステイエンヌ／フィガロの結婚／ドン・ジョヴァンニ／魔笛 (対訳オペラ全集 2)
平凡社 1962年発行

La Flûte enchantée MOZART 出版:L'Avant-Scène OPÉRA 仏語 2000年発行

古今のオペラを1作ずつ取り上げて解説するシリーズ刊行物。

Die Zauberflöte W.A.Mozart Peter Branscombe／Cambridge University Press 英語 1991年発行

<作品解説>

オペラのイコノロジー3 魔笛 <夜の女王>の謎 長野順子／ありな書房 2007年発行

「夜の女王」とザラストロの善悪の立場が逆転するのはなぜか。タミーノの試練を最終的に先導する「夜の女王」の娘パミーナは、多次元を自由に越境する。異界からやってきた二人の女性を軸にすえて、混沌と闇の中で躍動する多層的なイメージと音の世界を読み解く、ユニークな「魔笛」論。

オペラ 魔笛のことが語れる本 モーツァルトとフリーメイソン 金子一也／明日香出版社 2004年発行

モーツァルトが召使音楽家の身分から誰もが認める超一流芸術家まで至るのに忘れてはならないのが、秘密結社・フリーメイソンの存在である。そして、『魔笛』はフリーメイソンの啓蒙主義に沿ったコマーシャル・オペラと言われている。『魔笛』の考察により、音楽家としてのモーツァルトはもちろん、「起業家」としての一面も掴み取れる一冊。

魔笛 秘教オペラ ジャック・シャイエ＝著／高橋英男、藤井康生＝訳／白水社 1976年発行

『魔笛』は、美しい音楽と荒唐無稽で込み入った筋立てとの一見不調和な結びつきが様々に取り沙汰されてきた。本書は従来の誤解を正し、音楽と台本全体にわたるフリーメイソンの伝承を浮き彫りにして、その全貌を提示する。

魔笛－文明史の劇場 塩山千仞＝著 春秋社 1999年発行

オペラ『魔笛』にはモーツァルトの時代観と世界観が如実に表されている。ドラマツルギーの本質を社会史・精神史との関わりで描く。

『魔笛』とウィーン 興行師シカネーダーの時代 クルト・ホルカ＝著／西原稔＝訳 平凡社 1991年発行
モーツァルト最後のオペラの台本作者・パパゲーノ役として名を残したシカネーダーとはどんな人物だったのか。当時の演劇・オペラ事情を背景に、初めてその生涯と実像を明らかにする。

『魔笛』ミハエル・ゾーヴァ＝画／那須田淳＝文 講談社 2002年発行
神秘的なものと喜劇的なもの、幻想的な情景と奇想天外な人物とを、シュールリアリスティックな絵の中に集結させ、現在、同時代の出版芸術における偉大な魔術師のひとりに数えられるミハエル・ゾーヴァ。本書は、彼が1998年にフランクフルト歌劇場で上演されたオペラ『魔笛』のために描いた舞台美術および衣裳草案をもとに構成した。

イラストオペラブック2 魔笛 原研二＝解説／株式会社ショパン 2006年発行
オペラの登場人物やあらすじ、見どころなどをイラスト付きでわかりやすく解説。

モーツァルトはオペラ 歌芝居としての魅力をさぐる 西本晃二＝著／音楽之友社 2006年発行
モーツァルトの音楽の精髓はオペラにあり！『魔笛』を含む後期のオペラ9作品を、台本から、歌詞、演出、字幕スーパーまで、縦横に論じる。

ロココの裏の欲望 モーツァルトのオペラワールド 永竹由幸＝著／株式会社ショパン 2006年発行
優雅、華麗なロココ社会の裏に潜む人間のデモニッシュな欲望をあばいたモーツァルトのオペラ7作品の解説。

モーツァルトのオペラ ルードルフ・アンガー・ミュラー＝著／吉田泰輔＝訳／音楽之友社 1991年発行
モーツァルトの22のオペラの作曲の経緯、初演から今日までの流れを追うことにより、時代とともに変容するモーツァルトのオペラの全貌を明らかにする。収録写真・図版約360点。没後200年を記念して出版された。

モーツァルトのオペラ エドワード・J・デント＝著／石井宏、春日秀道＝訳／草思社 1985年発行
『魔笛』を含むモーツァルトのオペラ7作品について、それまでのドイツ的、弁証法的音楽美学から解き放ち、現代的解釈への道をひらいた画期的労作。作品誕生にまつわる数々のエピソードも豊富。

オペラ、魅惑する女たち ジャン・スタロバンスキー＝著／千葉文夫＝訳／みすず書房 2006年発行
ルソーを中心とする18世紀文学研究の大家が執筆した初めての音楽論・オペラ論。「魔笛」に関する記述もあり。

恋するヒロイン オペラにみる愛のかたち 中野京子＝著／株式会社ショパン 2005年発行
愛に生きたひとりの女性として、いまよみがえるオペラのヒロインたち。「第八章 母の暗面」に『魔笛』夜の女王を取り上げている。

傑作オペラはこうしてできた ミルトン・ブレナー＝著／白水社 1999年発行
オペラは舞台より楽屋のほうがおもしろい。名作オペラの背後にはなまぐさい人間ドラマがある。巨匠が作るオペラの影に隠された思いがけないエピソードの数々を公開。(『魔笛』は第3章「フリーメイソンのオペラ」で記述。)

モーツァルト (作曲家別名曲解説ライブラリー14) 音楽之友社 1994年発行
『魔笛』を含む主な歌劇はⅡ巻で解説。

<作曲家関連>

新潮選書 恋愛哲学者モーツァルト 岡田暁生＝著／新潮社 2008年発行
絶対王政の没落と近代市民社会の到来という時代の亀裂の中でモーツァルトのオペラは華ひらき、バロック・オペラの予定調和的な世界を破壊し、男と女のエロスを歌った。《魔笛》を含む五つの傑作群をひとつの「恋愛テクルス」として読み解く、新たな音楽＝文化論。

モーツァルトの廻廊—MOZART CHRONICLE 2006 海老澤敏＝著／春秋社 2008年発行
とこしえの美しい響きに導かれて…モーツァルト受容の現在。“モーツァルト・クロニクル”最新論集。

モーツァルトの手紙 高橋英郎＝著／小学館 2007年発行
天才モーツァルトと父レーオポルトとの数百通の書簡を読み解いた大作。モーツァルトが幼少の頃より旅したヨーロッパ各地の地図、旅程表を集録、詳しい人物註付き。

モーツァルトの音符たち 池辺晋一郎の「新モーツァルト考」 池辺晋一郎＝著／音楽之友社 2002年発行
天才モーツァルトの魅力の謎を、人気作曲家・池辺晋一郎が斬新、大胆に説き明かす。『魔笛』に関する記述もあり。

モーツァルトの生涯 海老沢 敏＝著／白水社 1984年発行

モーツァルト(作曲家◎人と作品シリーズ) 西川尚生＝著／音楽之友社 2005年発行

<事典>

モーツァルト百科全書 福島章恭＝著／毎日新聞社 2006年発行

人生の哀しみを珠玉の名曲に結晶させたモーツァルト。その35年にわたる破天荒な生涯をたどりながら、折々に産み落とされた名曲を選びすぐりのCDで堪能する。モーツァルト生誕250周年記念出版。

モーツァルト全作品事典 ニール・ザスロー ウィリアム・カウデリー＝編／音楽之友社 2006年発行
モーツァルトの全作品についての歴史的エッセイを選び集成した、音楽愛好家のための利用しやすい参考書。

モーツァルト事典 海老沢 敏・吉田泰輔＝監修／東京書籍 1991年発行

モーツァルトの断片・草稿にいたる全ての作品と、その時代・社会・受容・演奏について最新の研究成果を盛り込んで詳細に解説。モーツァルト・ファンの座右の書。

モーツァルト大事典 ロビンス・ランドン＝原著監修／海老沢敏＝日本語版監修／平凡社 1996年発行

モーツァルト名曲事典 音楽之友社＝編／音楽之友社 1992年発行

<事典>

オペラ・パロディの世界—もう一つのオペラの愉しみ 立教大学出版会＝編／有斐閣 2007年発行

オペラ・パロディ＝民衆オペラは、特権階級が独占していたオペラの持つ魅力を、わかりやすく民衆に伝え、新しい世界を発見させてくれる「魔法の壺」である。民衆オペラの駄洒落、語呂合わせ、言葉遊び、替え歌などに挑み、19世紀ウィーンの演劇的祝祭空間に迫った苦心の翻訳集。※『魔笛』のパロディ：カール・マイスル作、須永恆雄訳。

『魔笛』、モーツァルトに関する書籍は他にも多数ございます。詳しくはお問合せください。

公演記録映像

魔笛 (1998.5.10) 【字幕入り】 タミーノ：永田峰雄、パミーナ：大島洋子、夜の女王：菅英三子

魔笛 (1998.5.12) 【字幕なし】 タミーノ：吉田浩之、パミーナ：斉田正子、夜の女王：崔岩光

魔笛 (2000.10.10) 【字幕入り】 タミーノ：永田峰雄、パミーナ：澤畑恵美、夜の女王：崔岩光

魔笛 (2006.1.21) 【字幕入り】 タミーノ：ライナー・トロースト、パミーナ：砂川涼子、夜の女王：佐藤美枝子

DVD

魔笛 ('91 メトロポリタン歌劇場)

パミーナ：キャスリーン・バトル、夜の女王：ルチアーナ・セツラ、タミーノ：フランシスコ・アライサ

魔笛 (映画版：'74 スウェーデン、'75 カンヌ映画祭出品)

タミーノ：ヨーゼフ・ケストリンガー、パミーナ：イルマ・ウツリラ、パパゲーノ：ホーガン・ハーゲゴード

魔笛 ('00 チューリヒ歌劇場)

タミーノ：ピョートル・ベツチャーラ、夜の女王：エレナ・モシュク、パミーナ：マリリン・ハルテリウス